

第五回

日本語コミュニケーション研究会

〈参加自由〉

《プログラム》

〈午前〉

9:30-10:00 櫻井和美(創価大学大学院生)
「独話的対人発話の研究—ポライトネスの観点から—」

10:00-10:30 孫思琦(ソン・シキ)(筑波大学大学院生)

「文末表現として用いられる接続助詞の歴史的変遷」

(10:30-10:45 休憩)

10:45-11:15 朱炫姝(ジユ・ヒョンジュ)(筑波大学大学院生)

「『〜てくれる』『〜てもらう』における使用条件について—日本語母語話者と学習者の用例を比較して—」

11:15-1145 山下悠貴乃(筑波大学大学院生)

「依頼における配慮表現の研究—助詞に注目して—」

11:45-12:15 大堀裕美(創価大学大学院生)
「日本語の二重否定の特徴～迂言的二重否定の命題特性とその機能を中心に～」

(12:15-14:00 昼食・休憩)

〈午後〉

14:00-14:40 牧原功(群馬大学准教授)
「動詞の自他の選択と配慮」

14:40-15:20 山岡政紀(創価大学教授)
「カモシナイの主観性と客観性」

(15:20-15:35 休憩)

15:35-16:15 李奇楠(北京大学副教授)
「『批判』の発話について」

16:15-16:55 小野正樹(筑波大学教授)
「引用表現の主観性」

※18:00より懇親会

日時:2015年1月23日(金)

会場:創価大学
教室 中央教育棟
AE555教室